嶋野　広一

高 39 期

大阪河﨑リハビリテーション大学リハビリテーション学部

リハビリテーション学科　作業療法学専攻　講師

博士(保健学)

人との出会いを大切に！！

39 期の嶋野と申します。早いもので、登美丘高校を卒業して 30 年が過ぎました。先日、長男の付き添いで学校説明会に参加し、北野田駅から歩いて学校まで行ったのですが、その道中の変わりように驚きました。しかし、学校前の坂道は昔と変わらず、「遅刻だぞ、早く走れ！！」と当時、門前の生活指導の先生に言われ、皆で走ったのを思い出しました。また、校内も昔と変わらず、長男を連れて私が案内しました。

私は登美丘高校を卒業後、節目節目で色んな人たちのお世話になりました。具体的には作業療法士になったことや大学院に進んだこと、大学で教鞭を執ることになったのも全て諸先輩方の導きでした。だから、今の登美丘高校の皆さんには、「これから進んで行く道でたくさんの人に出会う。その出会いを大切にすること。」を覚えておいて下さい。

私の“出会い”についてのエピソードをお伝えします。私が勤務している大学の作業療法学専攻にひとりの教授がいました。その教授は高校時代にラグビーをしており、体格ががっちりしていて、見た目が「怖そう」で近寄りがたい印象でした。しかし、ある日、私は教授より研究室に呼び出され、「何かヘマをしてしまったかな？」と思い、恐る恐る研究室に行きました。すると教授から「嶋野先生は登美高出身だったんやね。実は私(教授)も登美高出身なんよ！！」、さらに「登美高出身ならラグビー部の仲谷先生は知ってるか？我々やその周辺の世代で仲谷先生を知らないようでは登美高の“モグリ”やで！！」と教授に言われました。私は「もちろん知ってますよ。仲谷先生には体育館の隣の体育教官室で“愛のムチ”を頂きましたから！！」と答えました。その場でお互いに笑い合ったのをきっかけに、それから教授には非常に可愛がって頂きました。残念ながら、その後、先輩である教授は他大学へ赴任されました。しかし、今でも何かあれば連絡を取り合えるお付き合いをさせて頂いてます。これも「厳しかった仲谷先生が引き合わせてくれたご縁」だと思っています。

最後になりましたが、今回は 100 周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

1991 年 3 月　登美丘高校卒業

1996 年 3 月　帝塚山大学教養学部教養学科卒業

2000 年 3 月　河﨑医療技術専門学校作業療法学科卒業

2000 年 4 月～3 月　医療法人ペガサス　馬場記念病院

2000 年 5 月　作業療法士免許取得

2001 年 4 月～2007 年 3 月　(財)大阪市おとしより健康センター

2007 年 3 月　神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻　修了　修士(保健学)

2007 年 4 月～　大阪河﨑リハビリテーション大学作業療法学専攻

2020 年 3 月　神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻博士課程後期課程　修了　博士(保健学)